

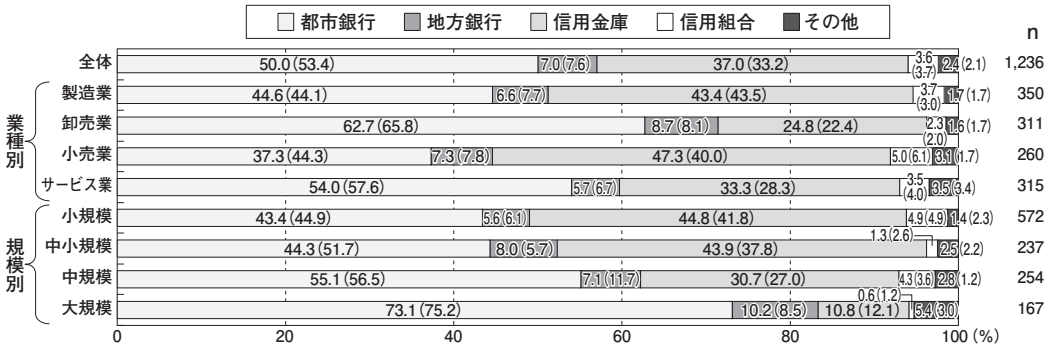
# 都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和2年5月調査)

## 1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が50.0%（前回調査53.4%）で最も高く、次いで「信用金庫」が37.0%（同33.2%）の順であった。業種別にみると、卸売業では「都市銀行」が62.7%（同65.8%）、小売業は「信用金庫」が47.3%（同40.0%）と高い。規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模では73.1%（同75.2%）を占める。

図表1 主な取引金融機関

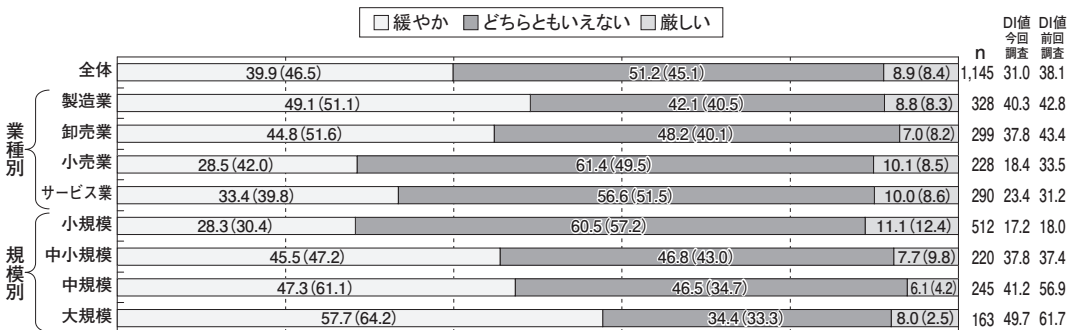


注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。( )内は前回調査(令和元年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 2. 借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」－「厳しい」）でみると、全体では31.0（前回調査38.1）となり前回調査と比べて7.1ポイント低下した。業種別にみると、製造業40.3（同42.8）が最も高い。小売業18.4（同33.5）は前回調査と比べて15.1ポイント低下した。規模別にみると、中小規模37.8（同37.4）が上昇した一方、小規模17.2（同18.0）、中規模41.2（同56.9）、大規模49.7（同61.7）はいずれも低下した。

図表2 取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



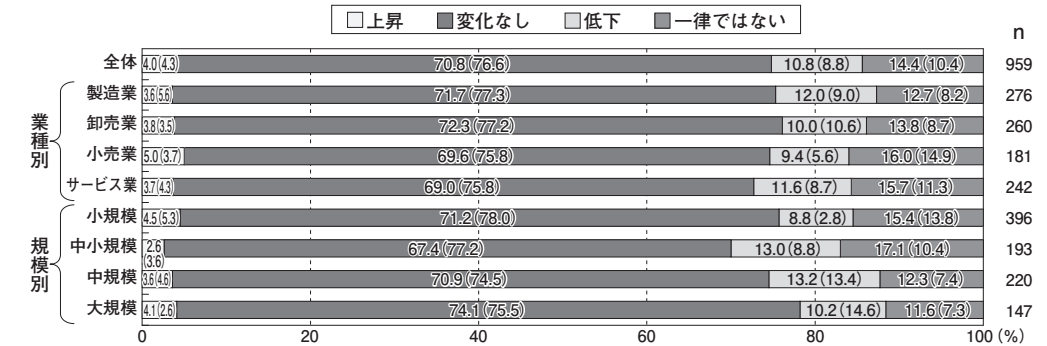
注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。( )内は前回調査(令和元年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 3. 主な取引金融機関からの借入金

### (1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が70.8%（前回調査76.6%）と最も高い。また、「低下」が10.8%（同8.8%）で「上昇」の4.0%（同4.3%）を上回る。

図表3 金利傾向

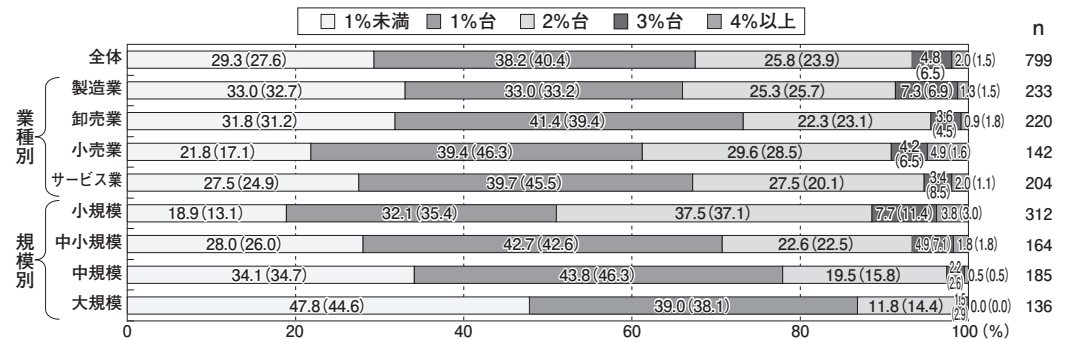


注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。( )内は前回調査(令和元年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

### (2) 金利水準

最近の借入金利は「1%台」が38.2%（前回調査40.4%）と最も高く、次いで「1%未満」が29.3%（同27.6%）、「2%台」が25.8%（同23.9%）の順であった。業種別にみると、小売業は「1%未満」が21.8%（同17.1%）で最も低い。規模別にみると、規模が大きくなるほど「1%未満」が高くなり、大規模では47.8%（同44.6%）を占める。

図表4 金利水準

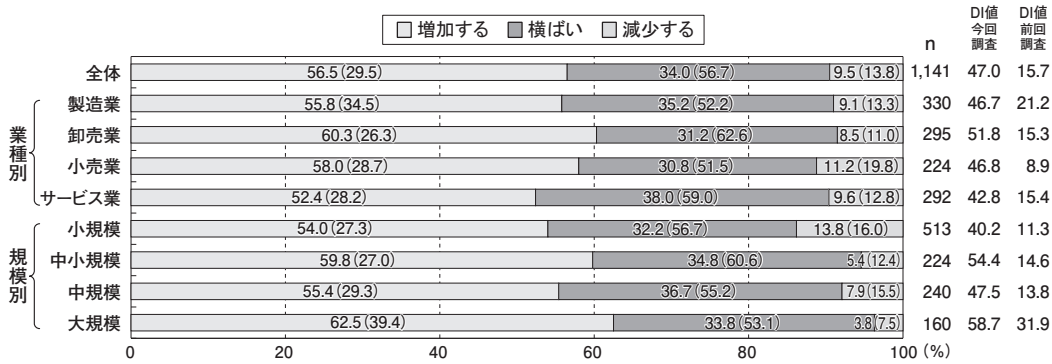


注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。( )内は前回調査(令和元年5月)の数値。3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

#### 4. 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では47.0（前回調査15.7）と前回調査に比べて31.3ポイント上昇した。業種別にみると、製造業46.7（同21.2）は25.5ポイント、卸売業51.8（同15.3）は36.5ポイント、小売業46.8（同8.9）は37.9ポイント、サービス業42.8（同15.4）は27.4ポイントといずれも上昇した。規模別にみると、すべての規模で上昇した。なかでも、中小規模54.4（同14.6）は39.8ポイント上昇した。

図表5 資金需要（今後3か月間）



注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。( )内は前回調査(令和元年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

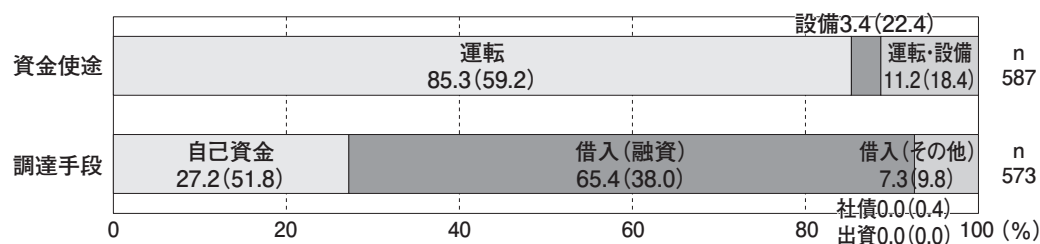
##### (1) 資金使途

資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が85.3%（前回調査59.2%）と最も高く、前回調査と比べて26.1ポイント増加した。

##### (2) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「借入（融資）」が65.4%（前回調査38.0%）と最も高く、次いで「自己資金」が27.2%（同51.8%）であった。前回調査と比べて「借入（融資）」が27.4ポイント増加し、「自己資金」が24.6ポイント減少した。

図表6 資金使途と調達手段



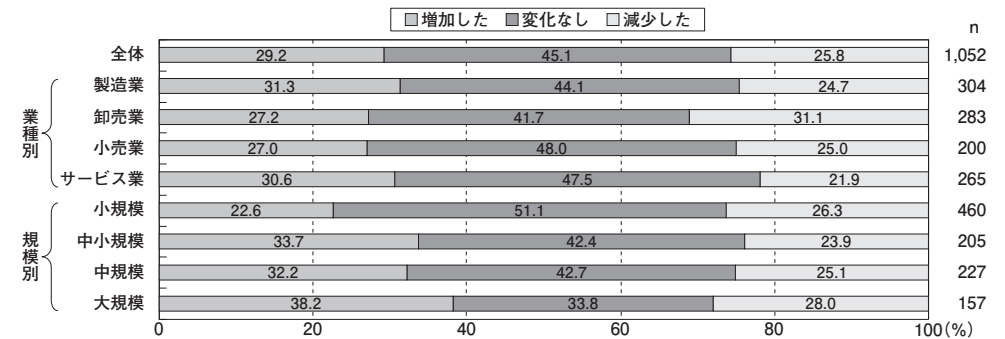
注) 資金需要が増加する企業につき、無回答を除き集計。( )内は前回調査(令和元年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

#### 5. 金融機関からの借入金総額の状況

##### (1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が45.1%と最も高く、次いで「増加した」が29.2%であった。業種別にみると、製造業とサービス業で「増加した」がともに3割を超えた。規模別にみると、大規模では「増加した」が38.2%と他の規模より高い。

図表7 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）

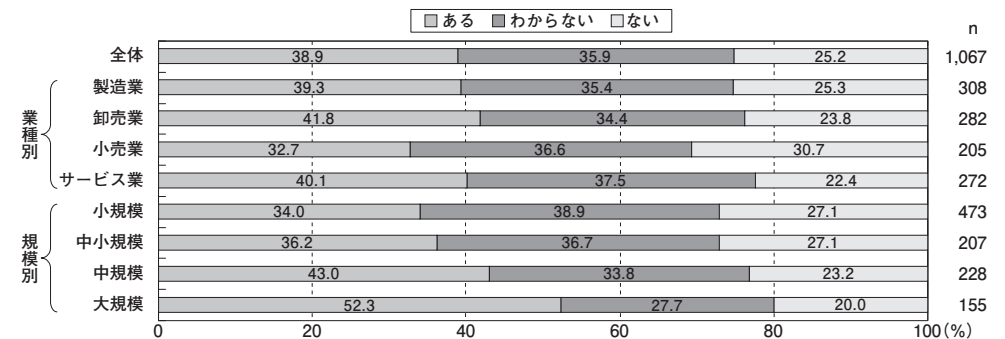


注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

##### (2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、「ある」が38.9%であった。一方、「ない」は25.2%となっている。業種別にみると、「ある」は卸売業とサービス業でともに4割を超える。規模別にみると、大規模では「ある」が52.3%と他の規模より高い。

図表8 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。